

## 2021-2022 フィンドレー大学福井県奨学生 月例報告書 9月

作成者: 島田 園子

作成日: 2021年10月12日

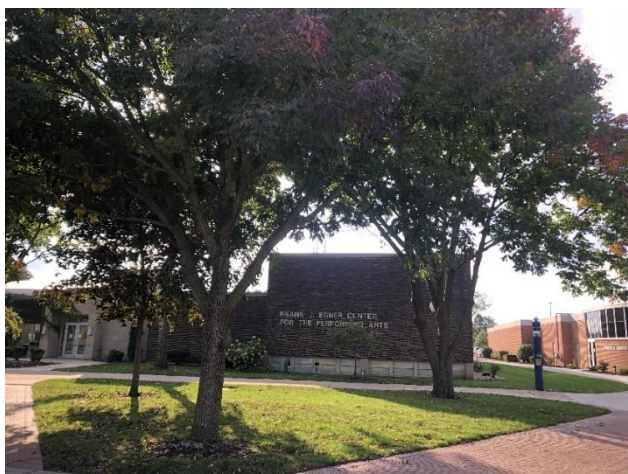
10月に入り、気温の変化が激しくなってきました。ある日は半袖のTシャツでも暑いくらいかと思えば、あくる日は突然真冬のような寒さとなり、ダウンジャケットを来て大学まで歩いていくこともありました。この報告書を書いている今はとても過ごしやすい気温で、毎日からりと晴れて清々しく、福井の秋を思い出します。本報告書では、私が先月取り組んだ“24hours Theatre Triage”という演劇のイベント、11月の演劇公演に向けたリハーサルについてご報告します。

“24hours Theatre Triage”というイベントは、24時間で脚本の作成、演出、リハーサルを学生が行い、ショーを開催するというものです。イベントの参加者は15人ほどで、ショーの直前には2週間のワークショップが開催されました。そこで、短時間で短い脚本を書く練習を行い、学生が書いた脚本を実際に舞台上で演出しながら基本的なディレクターの仕事学びました。



ショー前日夜8時、イベントの総監督からショーのテーマが開示され、脚本担当の学生たちがテーマに沿った脚本を約3時間で書き、その後は演出担当（ディレクター）の学生たちが照明や音響、衣装、小道具などの演出を考案して各技術担当と相談し、何度かリハーサルを行い、翌日の夜8時に本番を迎えました。私は脚本と演出を他の学生と共同で担当しました。数人で脚本を書き上げることは非常に苦勞し、また演出に関しても満足いかなかったり、自分の非力さを痛感したりと悔しいことは書ききれませんが、皆で一つの作品を創る難しさと楽しさを学ぶ良い経験となりました。ショー前日の夜は大学のシアターの中で寝泊まりです。上の写真は客席の後ろに吊るしたハンモックから撮った夜の舞台です。ハンモックで寝るのは初めてでしたが、寒くて一睡もできませんでした。

現在は、11月中旬にフィンドレー大学で開催するシェイクスピアの *The Comedy of Errors* という舞台に向けて、毎日夜7時から10時までリハーサルを行っています。演出は theatre の教授が手掛け、舞台のセットは教授と学生が毎日協力して一から作り、役者は学生です。先月行われたキャストオーディションに合格して役を頂けたので、私もキャストとしてリハーサル



に参加しています。シェイクスピアの脚本は古い英語である上、目を疑うほど長い台詞もあり、皆つまずきながら何とか演じています。脚本の読み合わせの段階では、こんなに難しい作品が果たして面白いのかと疑っていましたが、実際にステージで演じてみると、複雑なプロットやキャラクター同士の掛け合いが面白く、この作品がとても好きになりました。

来月この報告書を書く頃は、まさに本番の直前です。自信を持って直前リハーサルのご報告ができるように、本番まで日々頑張ってお参りたいと思います。



本報告書についてご質問、感想等ありましたら以下のメールアドレスまでご連絡ください。

[shimadas1@findlay.edu](mailto:shimadas1@findlay.edu)